



■病院の概要

令和5年12月1日現在

医師数：66人
 病床数：260床（一般260床）
 外来患者数：612.6人/日（令和4年度実績）
 入院患者数：151.6人/日（令和4年度実績）
 待遇：1年目380千円/月 賞与なし
 2年目430千円/月 賞与なし

指導医数 33 人	研修医数 13 人	救急搬送患者数 6091 人 (令和4年度実績)	手術件数 1518 件 (令和3年度実績)
---------------------	---------------------	---------------------------------------	------------------------------------

■初期臨床研修プログラムの一例

- ・2020年度の臨床研修制度改定に伴い「7科必修プログラム」を採用しています。
- ・初めの1ヶ月は社会人として、医師として、研修生活に慣れるため「総合研修」を実施。3週目には他部署とのコミュニケーションを図ることを目的とした「コメディカル研修」などを行います。
- ・毎週金曜日に1週間で学んだことを報告する「研修報告会」、各科の知識を満遍なく吸収できるような「モーニングレクチャー」や「外来英語研修」、「心肺蘇生講習会の講師」などを行います。

1・2年目	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週	4週
	総合研修 (1年次4月)	内科(24週以上) ※1年次に修了が望ましい							救急12週以上 (麻酔科は4週まで 救急を含む) ※1年次に修了が望ましい	外科	小児科	産婦人科	精神科 (2年次)	地域医療 (2年次)	選択科目								

■プログラム責任者からのメッセージ

当院の実習は屋根瓦式であり、研修医の教育にはすべてのスタッフが関わっています。誰もが教え学が立場であるという考えのもと、2年修了時に、臨床能力だけでなく指導能力も兼ね備えた医師を目指してぜひ一緒に研修しましょう。心より歓迎します。



プログラム責任者
大場 豪

■研修医からのメッセージ

当院の初期臨床研修は、基礎を固めるための充実したプログラムと、各研修医の自主性を尊重する柔軟なアプローチで構成されています。特に注目すべきは、週1回開催されるモーニングレクチャー、研修報告会、そして外科・小児外科カンファレンスです。



研修医2年目
山崎 義昭

モーニングレクチャーでは、各診療科の専門医が研修医向けに、各科の基本知識に関する講義を行います。ここで得られる知見は、医療現場での判断力を養うのに不可欠です。一方、研修報告会では、研修医たちが一週間の学びを共有し、臨床研修担当の山本先生から貴重なフィードバックを直接受け取る機会があります。外科・小児外科カンファレンスでは、実践的なプレゼンテーションスキルや、医学的に正確な言葉遣い、患者の病態を的確に把握する方法などを学びます。

これらのプログラムは、医師としての長いキャリアを築く上での基盤を強化し、自ら疑問を持ち、積極的に学ぶ姿勢を養います。また、各診療科のローテーションは研修医の希望を反映しており、年度途中での変更も可能です。これにより、研修医は新たに関心を持った分野や、より深く学びたい分野を選択できます。4月の総合研修期間中には、1週間のコメディカル研修もあり、検査・薬剤・リハビリテーション等の仕事を体験することで、病棟業務における協力関係を築くのに役立ちます。

また、医療スタッフだけでなく事務職員とも親密な関係を築けるのも、当院の大きな特徴です。多くの研修医にとって、これは医師としてだけでなく、社会人としても重要な経験となります。初期研修の2年間は、知識や技術の習得だけでなく、協調性やコミュニケーション能力を磨く貴重な機会です。「百聞は一見にしかず」の言葉があるように、当院の雰囲気を直接感じていただくためにも、ぜひ一度訪れてみてください。

■連絡先

ADDRESS
〒065-8611 札幌市東区北12条東3丁目1番1号
PHONE
011-711-0101
担当部署
天使病院総務課 林・高垣
E-MAIL
res-office@tenshi.or.jp
URL
https://www.tenshi.or.jp

■専門研修プログラム（基：基幹施設、連：連携施設）

基	連	領域	基	連	領域	基	連	領域
●		内科	●		眼科			臨床検査
●		小児科	●		耳鼻咽喉科			救急科
		皮膚科			泌尿器科			形成外科
		精神科			脳神経外科			リハビリテーション科
●		外科			放射線科	●		総合診療
●		整形外科	●		麻酔科			
●		産婦人科	●		病理※			

注 関連施設等の場合は、各領域名の後に「※」を付しています。